

# 本の上の映画館

12

2012 December

 mediaSeven



特集

## シネマの夢

# 特集 シネマの夢

会場：プレゼンテーションスタジオ 定員：80名 入場：無料  
主催：川口市立中央図書館 運営：NPO Community Design Council

- 開場は各日上映時間の30分前です。
- 申し込みは不要ですので、上映当日に会場までお越しください。
- 音の聞こえづらい方をサポートする磁気ループシステムを導入しています。Tモードつき補聴器をお持ちでない方には、専用受信機を貸し出します。

12月9日(日) 14:00～(上映時間 117分)

## 『明日を夢見て』

1953年、シチリア島。ジョー・モレツリはおんぼろカメラを積んだトラックで田舎町にやって来た。彼は町の広場にテントを張り、道行く人々に映画の新人オーディションへの参加を賑やかに呼びかける。わずかなお金で、明日の銀幕のスターの夢が手に入るというのだ。

監督：ジュゼッペ・トルナトーレ / 出演：セルジオ・カステリットほか / 1995年 / イタリア / DVD / 字幕

12月11日(火) 19:00～(上映時間 101分)

## 『ミルコの光』

映画をこよなく愛する少年ミルコは、不慮の事故によって視力を失い、心を閉ざしてしまった。しかし盲学校の友人たちと古いテープレコーダーをつかって「音の童話劇」をつくることを考えつく。イタリア映画界で実際に活躍するサウンドデザイナーの幼少時代を描いたストーリー。

監督：クリスティアーノ・ボルトーネ / 出演：ルカ・カプリオッチェほか / 2005年 / イタリア / DVD / 字幕

12月22日(土) 14:00～(上映時間 138分)

## 『8 1/2』

温泉地に逗留している43歳の映画監督グイド。公私ともども悩みの多い彼の脳裏には、幼少時の記憶、まだ見ぬ夢の美少女の幻影が現れては消える。

監督・原案・脚本：フェデリコ・フェリーニ / 出演：マルチェロ・マストロヤンニほか / 1963年 / イタリア / DVD / 字幕

12月27日(木) 19:00～(上映時間 76分)

## 『照明熊谷学校』

照明技師・熊谷秀夫。大映京都から日活シスター・ピクチュア、ロマンポルノを経て、78歳だった当時から現役の映画人として活躍しており、携わった作品は150本を超える。そのおよそ50年余りの時を、本人や関係者の言葉を交えて綴るドキュメンタリー。

制作：藤田義則、宮内真吾、福島聡司 / 出演：熊谷秀夫ほか / ナレーション：小泉今日子 / 2004年 / 日本 / DVD

【特別関連上映会】『フタバから遠く離れて』2012年 / 日本 / HD / カラー

12月23日(日) ①10:00～ ②14:00～(上映時間各96分) ※申込締切：12月13日(木)

入場料：①1,000円 ②1,500円(監督によるトークイベント付き)

川口市立映像・情報メディアセンター  
メディアセブン

〒332-0015

埼玉県川口市川口1-1-1 キュボ・ラ7F

◎開館時間

月-金 10:00-21:00 / 土日祝日 9:00-18:00

◎休館日

毎月第3金曜日(機器調整日)、1月1日-4日

◎お問い合わせ

Tel. 048-227-7622 Fax. 048-226-7724

◎URL

http://www.mediaseven.jp

【年末年始の開館時間のお知らせ】

12月29日(土)～31日(月) 9:00～18:00

1月1日(火)～4日(金) 休館日

## シネマの夢

今月の本の上の映画館は、映画にまつわる映画の特集です。はじめの『明日を夢見て』は、『ニュー・シネマ・パラダイス』の監督ジュゼッペ・トルナトーレによる、再び映画をモチーフにした作品で、舞台も同じシチリア島です。カメラを向けられ、話し出す人々の様子はまるでドキュメンタリーのようなようです。

次の『ミルコのひかり』は、イタリア映画界の第一線で活躍する盲目のサウンドデザイナー、ミルコ・メンカッチの幼少時代を描いた実話です。イタリアでは1976年まで盲目の子ども達は通常の教育が受けられず、全寮制の盲学校に行かなければならなかったそうです。「何をしたいかではなく、何ができるかです」という校長の言葉は少年に対してはとても重い意味を持っています。

『8 1/2』はフェデリコ・フェリーニによる、自身をモデルにしたともいわれる悩める映画監督を主人公にした作品です。ちなみにこれの題名は諸説ありますが、基本的には短編を含めてフェリーニが監督してきた作品の「8 1/2」本目という意味だと言われています。

最後の『照明熊谷学校』は、1958年に映画『赤いランプの終列車』で照明技師デビュー後、157本もの作品に光を当ててきた熊谷秀夫さんのドキュメンタリーです。たかさんの監督や役者との共同作業を経てきた熊谷自身の口から語られる、照明技師とは。映画に対する深い愛が感じられます。

映画を構成する音や光。そして監督の葛藤や、映画を愛する人々を描いた4作品です。師走のお忙しい時期ですが、どうぞメディアセブンでほっとするひと時をお過ごしください。

### 1月の上映予定

- 8日(火) 19:00～ 『海の沈黙』
- 19日(土) 14:00～ 『モラン神父』
- 27日(日) 14:00～ 『第三の男』
- 30日(水) 19:00～ 『ストレンジャー』

